

# 亶理町立郷土資料館年報

第18号  
(平成27年度)



悠里館全景

## 亶理町立郷土資料館

宮城県亶理郡亶理町字西郷 140 番地  
電話 0223(34)8701 FAX 0223(34)8709  
E-mail kyoudo@towm.watari.miyagi.jp

## はじめに

平成27年2月1日、亘理町は町制施行60周年を迎えました。また、平成6年に開館した亘理町立郷土資料館は開館21周年になりました。

亘理町に多くの被害をもたらした東日本大震災から5年、復興が順調に進んでおり、町は震災以前の賑やかさを取り戻しつつあります。郷土資料館に来館される方々も観光や学習を目的とする方が増えてきました。当館では、常設展示室の一面を利用して震災の被害を記録した写真パネルを展示しており、震災の記憶を後世に伝えていかなければと考えております。

27年度は当初の予定通りの事業を実施することができました。展示事業では、10月に町制施行60周年を記念して、亘理町の60年のあゆみを記録した写真パネルを展示する企画展を開催しました。前半と後半で展示内容を入れ替える2部構成としたところ、町内外から多くの方々にお越しいただきました。2月には、収蔵庫の改修に伴い2年間実施していなかったテーマ展を、「桜小路横穴墓群」をテーマとして開催しました。昭和と平成に行われた発掘調査の成果を公表する機会として、調査で発見された遺物などを展示しました。

8月16日と1月16日には、県指定文化財「伊達成実霊屋」の御開帳にあわせて、常設展示の観覧料を無料としました。町内はもちろん、県外からも参拝者が訪れ、亘理伊達家や亘理の歴史への理解を深めていました。

教育普及事業では、毎年恒例の「G o ・ G o 悠里館まつり」を開催しました。また、夏休み子ども講座の「勾玉を作ろう」や年中行事講座の「おひなさまを作ろう」にもたくさんの申し込みが寄せられました。年度末に開催している郷土資料館町民講座「ものしり大学院」は、3名の講師による「亘理の古代」をテーマとした研究報告とパネルディスカッションでした。多くの方に参加いただき、「亘理の古代」への関心の高さがうかがえる講座となりました。

郷土資料館では、亘理町の歴史や受け継がれてきた人々の暮らしぶりを後世に伝えるため、なお一層、資料の収集や調査・研究を重ねていきたいと思っております。また、その成果をより多くの方々に伝えるための展示や教育普及事業に真摯に取り組んで参りたいと考えております。どうか今後とも、より一層のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、平成27年度の事業を実施するにあたり、多大なるご協力を賜りました方々及び関係機関の皆様にご心から厚くお礼申し上げます。

平成28年8月

亘理町立郷土資料館  
館長 宍戸由美

# 目 次

1	平成27年度の主な事業と活動	3
2	組織・運営	
	〔1〕 組織図・職員構成	4
	〔2〕 事務分掌	4
3	展示	
	〔1〕 常設展示	5
	〔2〕 企画展示	5
	〔3〕 テーマ展示	7
	〔4〕 収蔵資料展示	8
	〔5〕 ミニ展示	9
4	無料開放事業	
	〔1〕 「どこでもパスポート」事業	10
	〔2〕 常設展示室無料開放	13
5	教育・普及	
	〔1〕 講座等	13
	〔2〕 学社融合推進事業「移動しりょうかん」	16
	〔3〕 こども祭り「Go・Go悠里館まつり」	18
	〔4〕 「オープンミュージアム」	19
	〔5〕 学校教育関連	19
	〔6〕 刊行物等	20
	〔7〕 博物館実習	20
	〔8〕 その他	21
6	資料の収集・保管	
	〔1〕 収蔵資料	22
	〔2〕 寄託資料	24
	〔3〕 常設展示借用資料	24
	〔4〕 資料貸出	24
7	観覧者数の推移	
	〔1〕 平成27年度月別観覧者数	25
	〔2〕 年度別観覧者数	25
8	予算	26
9	職員名簿	26
10	利用案内	26

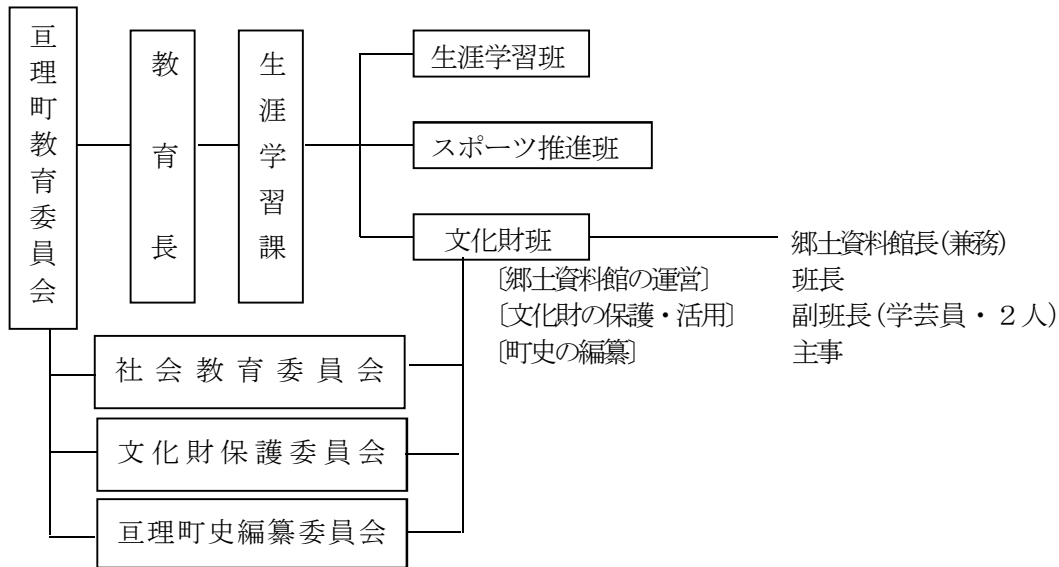
# 1 平成27年度の主な事業と活動

- 27.4 広報紙「郷土しりょうかん」第122号発行  
5/5 Go・Go悠里館まつり  
5/5～6/28 第18回収蔵資料展  
5/29 宮城県南資料館等連絡協議会総会(柴田町)  
6 広報紙「郷土しりょうかん」第123号発行  
6/10 宮城県博物館等連絡協議会総会・第1回研修会(多賀城市)  
7/21～8/23 ミニ展示「亙理伊達家の資料と江戸清吉コレクション」  
7/21～8/23 夏休みどこでもパスポート利用促進事業「ちょこっと体験」  
8 広報紙「郷土しりょうかん」第124号発行  
8/16 伊達成実霊屋御開帳記念無料観覧日  
8/18～25 博物館実務実習  
8/22 夏休み子ども講座「勾玉を作ろう」  
9/1 学社融合推進事業「亙理用水学習会」学芸員派遣(逢隈小学校)  
10 広報紙「郷土しりょうかん」第125号発行  
10/3～18 企画展 町制施行60周年記念「写真でみる亙理町のあゆみ」第1部  
10/20 学社融合推進事業「総合的な学習 学校周辺の遺跡について」学芸員派遣(吉田小学校)  
11/3 文化の日記念オープンミュージアム  
11/3～11/29 企画展 町制施行60周年記念「写真でみる亙理町のあゆみ」第2部  
11/18 学社融合推進事業「亙理用水学習会」資料貸出と学芸員派遣(亙理小学校)  
12 広報紙「郷土しりょうかん」第126号発行  
12/1 宮城県南資料館等連絡協議会 第1回役員会(村田町)
28. 1/16 伊達成実霊屋御開帳記念無料観覧日  
1/21 学社融合推進事業「移動しりょうかん 出前学習」(逢隈小学校)  
2 広報紙「郷土しりょうかん」第127号発行  
2/2 宮城県南資料館等連絡協議会 担当者研修会(村田町)  
2/3 学社融合推進事業「移動しりょうかん 出前学習」(長瀬小学校)  
2/13～3/20 テーマ展「桜小路横穴墓群～発掘調査からわかったこと～」  
2/19～3/3 亙理伊達家雛人形公開  
2/20 年中行事講座「おひなさまを作ろう」  
2/26 宮城県博物館等連絡協議会第2回研修会(多賀城市)  
3/3 おひなさま無料観覧日  
3/3 学社融合推進事業「移動しりょうかん 出前学習」(亙理小学校)  
3/4 学社融合推進事業「移動しりょうかん 出前学習」(高屋小学校)  
3/26 郷土資料館町民講座「ものしり大学院」「亙理の古代」  
3/30 宮城県南資料館等連絡協議会第2回役員会(村田町)

## 2 組織・運営

### 〔1〕 組織図・職員構成

平成27年4月1日現在

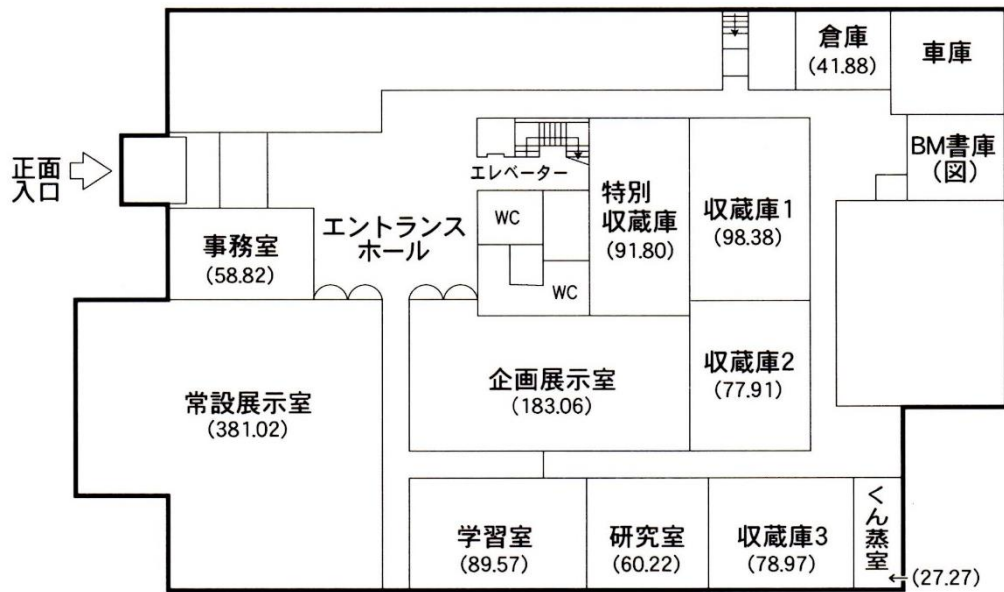


### 〔2〕 事務分掌

#### 文化財班（郷土資料館）

………管理運営・公印管理・文書の收受発送・整理保存・会計事務・その他の庶務・資料の収集・調査研究・保存・展示・普及活動の実施・展覧会の企画運営

#### 資料館平面図



※ ( ) 内は面積、単位は㎡

### 3 展 示

#### 〔1〕 常設展示

##### 1. 新着資料コーナー

常設展示の「プロローグ」「考古」「歴史」「亙理伊達家」「民俗」「シアター」「検索システム」に、広報紙「郷土しりょうかん」(年6回偶数月発行)の表紙で紹介した新着資料を展示するコーナーを常設展示室の一面に設け、資料6点を入れ替えて展示した。

資料名	展示期間	資料名	展示期間
ぱった(めんこ)	H27. 4. 25~6. 25	ポラロイド(カメラ)	H27. 10. 31~12. 24
半切桶	H27. 6. 27~8. 27	横型餅練機	H27. 12. 26~H28. 2. 25
亀甲松写真	H27. 8. 29~10. 29	雛人形	H28. 2. 27~4. 21

##### 2. 亙理伊達家雛人形公開

期 間 平成28年2月19日(金)~3月3日(木)

開館日数 11日間

場 所 常設展示室 亙理伊達家コーナー

観覧者数 84人

資 料 石川家伝来亙理伊達家古今雛一對、掛袱紗1点、婚礼調度品6点を仙道人取橋御合戦之図と入れ替えて展示した。

雛人形由来 亙理伊達家には十四代亙理領主邦成の義母貞操院(十三代仙台藩主伊達慶邦の妹・保子)の婚礼調度品と伝えられる雛飾りがあり、これらの雛人形は亙理伊達家が家中と共に北海道に開拓移住する際にも貞操院様の愛用品として大切にされ海を渡った。ほとんどの雛飾りは伊達市に寄贈され、市の開拓記念館に展示されているが、伊達家と邦成公の3人の息女にも伝えられた雛飾りがあった。平成13年、邦成公の三女佑子氏が嫁入り道具として持参した雛人形が、婚家の石川家から亙理伊達家に約90年ぶりに里帰した。翌14年、初代亙理領主成実公が亙理入府400年になるのを記念して、亙理伊達家と石川家の好意により郷土資料館に寄贈され、以来3月3日のひなまつりにあわせて公開している。



▲石川家伝来亙理伊達家古今雛

#### 〔2〕 企画展示

町制施行60周年記念企画展「写真でみる亙理町のあゆみ」

期 間 第1部 平成27年10月3日(土)~10月18日(日)

第2部 平成27年11月3日(火)~11月29日(日)



開館日数	第1部	14日間	
	第2部	23日間	
	計	37日間	
場 所	企画展示室		
観覧者数	第1部	525人	1日平均38人
	第2部	927人	1日平均41人
	計	1,452人	1日平均40人
観 覧 料	無料		

### 【趣 旨】

亶理町は昭和30年(1955)、亶理町、荒浜町、吉田村、逢隈村の2町2村が合併して誕生し、平成27年で60周年を迎えた。亶理町は住環境の整備、教育機関の充実、一次産業・二次産業の基盤整備、交通網の整備などを進め発展を続けてきた。しかし、この間には東日本大震災をはじめとする自然災害も多く発生した。

この展示では、亶理町60年のあゆみを写真で振り返り、町のうつりかわりを知るとともに、今後の町について考える機会とする。

### 【展示内容】

#### ◎特集コーナー(1部・2部ともに内容共通)

##### ・「東日本大震災」

東日本大震災は映像や写真など「記録」が多く残った災害である。これらの「記録」は、当時の状況を目視できる貴重な記録であり、後世に長く伝えることができる。亶理町60年のあゆみの中でもっとも衝撃的なできごとであり、今後のあゆみにおいても大きな影響を与えることになった東日本大震災を写真で振り返った。

①東日本大震災の発生、②震災の翌日、③被害の状況、④捜索・避難・支援、⑤復旧・復興の5つのコーナーを設置した。

展示物…写真パネル

##### ・「航空写真」

当館では、亶理町全域を撮影した航空写真を昭和22年(1947)から震災後まで年代ごとに揃えている。このコーナーでは、それらの航空写真を展示し、町のうつりかわりを解説した。

展示物…写真パネル

#### ◎第1部

##### ・「明治から昭和10年代の写真」

これまで当館で収集してきた亶理町誕生以前の写真を展示し、現在との違いについて比較した。

①風景・町並み、②行事・式典・記念、③仕事・奉仕活動など、④学校の4つのコーナーを設置した。

展示物…写真パネル、写真にまつわる実物資料(役場公文書、亶理消防組資料など)



▲特集コーナー「東日本大震災」



▲特集コーナー「航空写真」



▲第1部:「明治から昭和10年代の写真」

### ・「昭和20年代から30年代の写真」

亙理町が誕生した昭和30年(1955)を境とする昭和20年代から30年代の写真を展示し、亙理町誕生前後の動きやできごと、風景から当時の様子を振り返った。

展示物…写真パネル、写真にまつわる実物資料(町村合併関係資料、公民館報、荒浜町庁舎完成記念アルバムなど)

### ◎第2部

#### ・「昭和40年代以降の写真」

交通網や学校など町の基盤になるような部分を中心に、現在の亙理町へと発展するまでの過程を振り返った。

①交通網の充実、②町の整備、③小中学校の充実、④できごと・行事、⑤復興へ向けての5つのコーナーを設置した。

展示物…写真パネル、写真にまつわる実物資料(町勢要覧、広報わたり、式典パンフレットなど)



▲第2部：「昭和40年代以降の写真」

#### ・「町並み・くらし・人」

亙理町内で起こったできごとや行事、自然災害(東日本大震災を除く)について写真で振り返った。

①町の様子・くらし、②米づくりとイチゴ栽培、③うつりかわり、④災害、⑤こどもたち、⑥成人式、⑦亙理町の風景の7つのコーナーを設置した。

展示物…写真パネル、写真にまつわる実物資料(国体関係資料、災害記録集など)

### [3] テーマ展示

#### 桜小路横穴墓群～発掘調査からわかったこと～

期 間 平成28年2月13日(土)～3月19日(土)

開催日数 30日間

場 所 企画展示室

観覧者数 608人

観覧料 一般:100円(団体:70円) 高校生以下:無料  
(常設展示観覧者は無料)



▲「平成の発掘調査」コーナー

#### 【趣 旨】

桜小路横穴墓群は亙理町字桜小路、字見田内、逢隈鹿島字弥陀内に広がる古墳時代後期から平安時代にかけての横穴墓群で、昭和55年(1980)に周辺地域開発計画により24基の発掘調査が行われた。その成果は発掘調査報告書としてまとめられ、出土遺物は当館で保管している。

平成21、22(2009、2010)年には都市計画道路工事計画により21基の発掘調査が行われ、現地説明会には200人を超える参加者があり、関心の高さがうかがわれた。調査が終了した矢先に東日本大震災が発生し、整理は一時中断されたが、このたび発掘調査報告書が刊行することができ、鉄製品の保存処置も完了した。これを受け、当館を会場とし発掘調査の成果を公開する機会とした。

#### 【展示内容】

#### ◎横穴墓解説コーナー

亙理伊達家資料にある絵図面で「蝦夷穴」と記されていることを紹介し、横穴墓が役目を終えた後の歴史



を紐解いた。また、昭和の発掘調査前にはどのような状況であったかを紹介した。

展示資料…概説パネル、臥牛館之図(写真)、写真パネル

#### ◎「昭和の発掘調査」コーナー

昭和55年(1980)の発掘調査では、すでに湮滅に近い状況と考えられていた横穴墓の残存数が数十にも及んでいることがわかり、貴重な遺跡であることがわかった。

ここでは、調査が行われた24基で発見された遺構や遺物からわかる桜小路横穴墓群の特徴や考えられることを、実物資料や写真、図版で解説した。

展示資料…概説パネル、遺構の図版、写真パネル、遺物(直刀、土師器、須恵器、玉類など)

#### ◎「平成の発掘調査」コーナー

平成21、22年(2009、2010)には、昭和の発掘調査よりもさらに南側の地域で調査が行われた。新たに24基の横穴墓が発見され、亶理郡内最大規模の横穴墓群であることが確認された。発見された24基のうち19基の調査が行われた。

ここでは、平成の発掘調査で新たに判明したことを実物資料や写真・図版で解説した。

展示資料…概説パネル、遺構の図版、写真パネル、実物資料(蕨手刀、土師器、須恵器、玉類など)

#### ◎「亶理の横穴墓群」コーナー

亶理郡内に存在する多くの横穴墓群の中から、これまでに発掘調査が行われた遺跡を紹介するとともに、横穴墓が営まれていた時代の亶理郡について考えるコーナーとした。加えて、縄文土器、土師器、須恵器の破片に触り、違いを比べることができる体験コーナーも設置した。

展示資料…概説パネル、亶理町・山元町の遺跡図、実物資料(山元町歴史民俗資料館から借用したものを含む)、写真パネル

#### ◎特集コーナー

亶理郡内に存在する桜小路横穴墓群以外の遺跡を紹介し、それぞれの遺跡で発見された遺物を展示した。また、体験コーナーとして、山元町の合戦原遺跡で発見された鉄滓を持ち上げてみるコーナーと桜小路横穴墓群の調査報告書や関連する資料を閲覧できるコーナーを設置した。

展示資料…概説パネル、写真パネル、実物資料(刀剣、円筒埴輪、羽口、須恵器破片など)

### 〔4〕 収蔵資料展示

#### 「第18回収蔵資料展」

期 間 平成27年5月5日(火)～6月28日(日)

開館日数 45日間

場 所 企画展示室

観覧者数 900人

観覧料 常設展示観覧料

#### 【趣 旨】

郷土資料館開館以前から教育委員会で収集していた郷土資料に加え、開館以後も継続して資料収集を行っているため収蔵資料は充実してきている。これに伴い、亶理の歴史や文化を考える上で重要な資料でありながら、展示テーマや展示スペースの制限上、公開される機会のない資料が増加したため、これらを平成8年度から年度ごとに順次展示公開することとし、今回で18回目となる。



▲文書・書籍・地図コーナーの一面

## 【展示内容】

平成23年度に寄贈を受けた資料を分類項目ごとに展示し、総展示数は435点だった。

項 目	点 数	項 目	点 数	項 目	点 数
衣・食・住	129	社会生活	24	人の一生	14
生産・生業	4	信仰	5	軍事・戦争	5
交通・運輸・通信	9	民俗知識	144	文書・書籍・地図	37
交易	31	競技・娯楽・遊戯	33		

## 〔5〕 ミニ展示

### 「亙理伊達家の資料と江戸清吉コレクション」

期 間 平成27年7月21日(火)～8月23日(日)

開館日数 29日間

場 所 企画展示室

観覧者数 688人

観覧料 常設展示観覧料



▲「江戸清吉コレクション」の一部

### 【趣 旨】

郷土資料館では、「亙理伊達家の資料」を重点的に収集している。収集した資料は企画展示室に常時展示していたが、資料の保存状態を考慮し、期間を定めたミニ展示という形で展示を行っている。

27年度は、「亙理伊達家の資料」に加えて、荒浜地区の旧家である江戸家からレスキューし、当館で保管している資料「江戸清吉コレクション」の一部も展示した。

### 【展示内容】

#### ◎「亙理伊達家の資料」

①「伊達成実」コーナー：伊達成実についての解説と資料の展示

展示資料…伊達成実画像(複製)、伊達成実書状、政宗記、仙道絵図など

②「伊達政宗と亙理伊達家」コーナー：伊達政宗と亙理伊達家のかかわりについての展示

展示資料…伊達政宗書状2点、伊達宗実和歌掛軸、伊達実元書状

③「亙理伊達家の武具甲冑」コーナー：亙理伊達家及び家中が使用した武具類の展示

展示資料…黒漆五枚胴具足、武田斐子氏所有刀剣、空穂、火縄銃など

④「亙理伊達家の調度品」コーナー：貞操院の資料と亙理伊達家の調度品の展示

展示品…夜着、食器類、道中湯沸しなど

⑤「亙理伊達家家臣の資料」コーナー：家臣たちの資料や古文書の展示

展示資料…文箱、矢立、烏帽子、御黒印など

⑥「亙理伊達家の北海道移住」コーナー：北海道移住に関する資料を展示

展示資料…伊達邦成画像、小野潭移住開拓画など

#### ◎「江戸清吉コレクション」

①「竹久夢二の作品」コーナー：大正～昭和初期に活躍した画家の竹久夢二の作品を展示

②「自筆原稿」コーナー：26年度の企画展では展示できなかったものを中心に、著名な作家の自筆原稿を展示

## 4 無料開放事業

### 〔1〕 「どこでもパスポート」事業

平成14年4月から学校週5日制の完全実施に伴い、仙台都市圏を構成する14市町村立の社会教育施設を、仙台都市圏内の小中学生に無料開放する「どこでもパスポート」事業が始まり、当資料館も対象施設として、これまで町内の小中学生を対象に第2・第4土曜日に実施していた展示室の無料解放を、毎週土・日曜日、春休み・夏休み・冬休みの長期休業日期間中に変更した。平成18年度からは「どこでもパスポート」実施要綱の改正に伴い、どこでもパスポートの利用対象日を開館日の全てに変更した。

加えて、どこでもパスポート事業開始後、仙台都市圏外の地域でも同様の事業が開始され、平成15年度からは仙南地域広域圏内、16年度からは石巻広域圏内、大崎広域圏内、登米広域圏内(現登米市圏)、17年度からは気仙沼・本吉地域広域圏、18年度からは栗原市圏の小中学生に対しても同様に展示室の無料開放を開始した。同時に仙台都市圏内の小中学生も「どこでもパスポート」を提示することで、仙南地域・石巻・大崎広域圏内、登米市圏、気仙沼・本吉地域広域圏、栗原市圏の指定施設を無料で利用できるようになった。

#### ◆仙台都市圏14市町村

仙台市・塩竈市・名取市・多賀城市・岩沼市・亘理町・山元町・松島町・七ヶ浜町・利府町・大和町・大郷町・富谷町・大衡村

#### ◆仙南地域広域圏9市町「AZ9パスポート」

白石市・角田市・蔵王町・七ヶ宿町・大河原町・村田町・柴田町・川崎町・丸森町

#### ◆石巻広域圏3市町「ゆうゆうパスポート」

石巻市・東松島市・女川町

#### ◆大崎広域圏5市町「大崎ゆめっこパスポート」

大崎市・色麻町・加美町・涌谷町・美里町

#### ◆登米市「とめジュニアパスポート」

#### ◆気仙沼・本吉地域広域圏4市町「フリーパスポート」

気仙沼市・南三陸町・本吉町・唐桑町

#### ◆栗原市「くりはらグリーンパスポート」

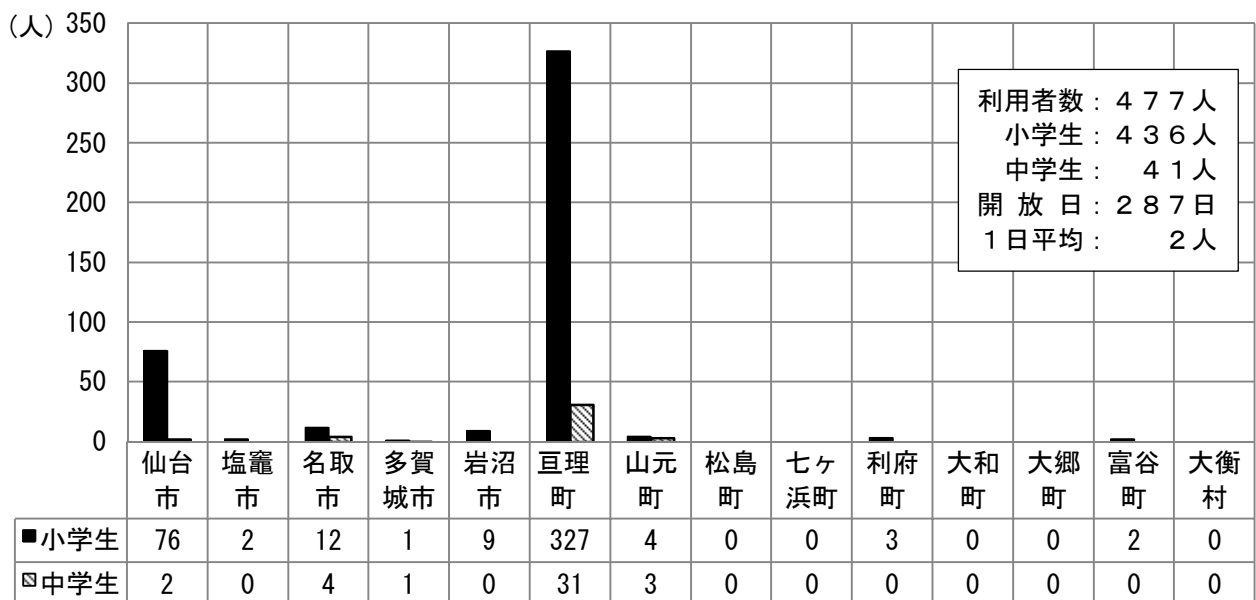
### 仙台都市圏等小中学生対象施設

市町村名	施設名	市町村名	施設名
仙台市	博物館、科学館、天文台、縄文の森広場、歴史民俗資料館、富沢遺跡保存館、八木山動物公園、野草園、秋保大滝植物園、仙台文学館、戦災復興記念館資料展示室、東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館、宮城県美術館、東北大学理学部自然史標本館、東北大学植物園	亘理町	郷土資料館
		山元町	歴史民俗資料館
		松島町	観瀾亭松島博物館、自然植物園福浦島
		大和町	原阿佐緒記念館、宮床宝蔵、七ッ森陶芸体験館
		大衡村	ふるさと美術館
		角田市	スペースタワー・コスモハウス
白石市	白石城、白石城歴史探訪ミュージアム、片倉家中武家屋敷「旧小関家」	七ヶ宿町	水と歴史の館
		村田町	野外活動センター

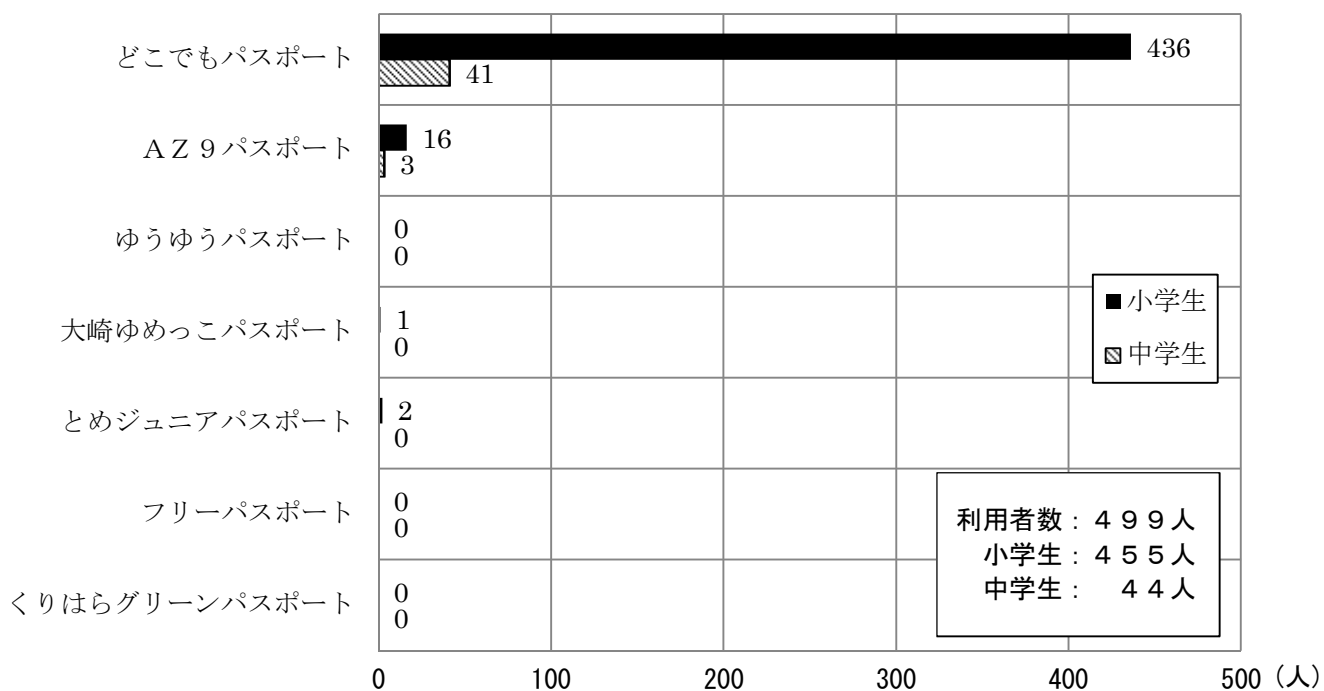
蔵王町	みやぎ蔵王こけし館、宮城県蔵王野鳥の森自然観察センター	登米市	教育資料館、登米懐古館、水沢県庁記念館、警察資料館、伝統芸能伝承館森舞台、不老仙館(登米市民俗資料館)、石ノ森章太郎ふるさと記念館、チャチャワールドいしこし、高倉勝子美術館「桜小路」
丸森町	蔵の郷土館・齋理屋敷		
石巻市	石ノ森萬画館、国指定名勝「齋藤氏庭園」、民俗資料館・天保の家		
東松島市	奥松島縄文村歴史資料館		
大崎市	吉野作造記念館、大崎生涯学習センタープラネタリウム館、松山ふるさと歴史館、松山酒ミュージアム、鎌田記念ホール(鎌田三之助展示室)	気仙沼市	リアス・アーク美術館
		南三陸町	ひころの里
加美町	宗左近記念縄文芸術館、芹沢長介記念東北陶磁文化館、墨雪墨絵美術館、切込焼記念館	栗原市	白鳥省吾記念館、山王考古館、一迫埋蔵文化財センター、細倉鉦山資料館、金成歴史民俗資料館、仙台藩花山村寒湯番所跡、剣豪・千葉周作ゆかりの家狐雲屋敷(旧佐藤家住宅)
涌谷町	史料館、くがね創庫		

\*だれでも無料の施設は除く

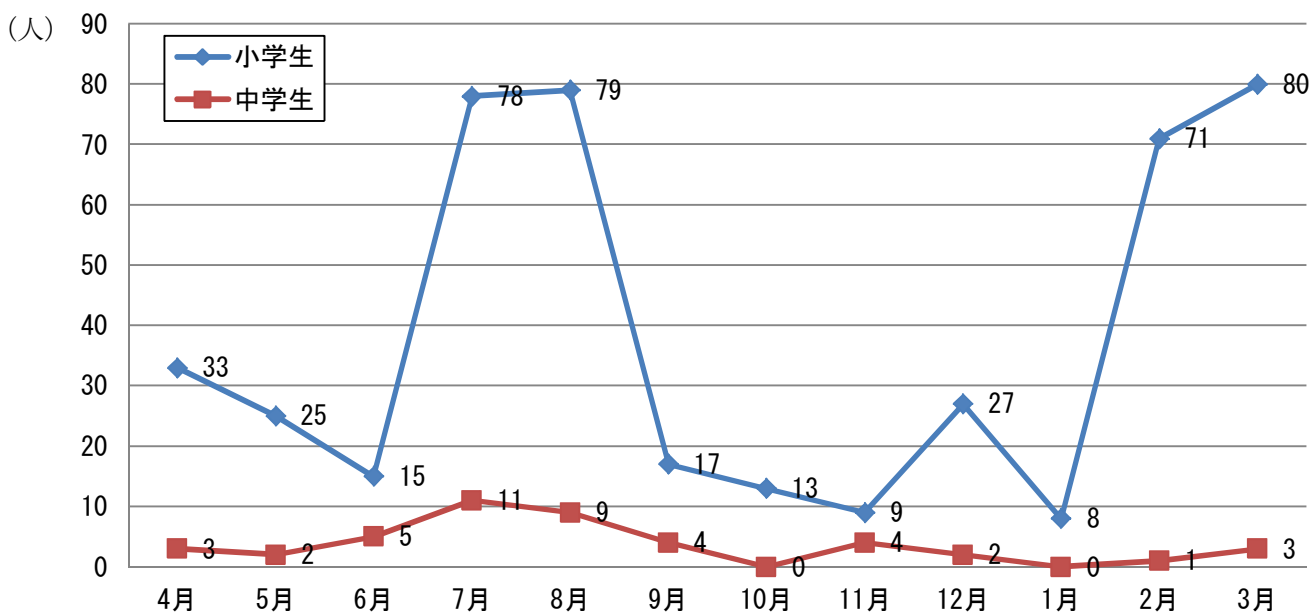
### 「どこでもパスポート」市町村別利用者数



### パスポート別利用者数



### 「どこでもパスポート」ほか各種パスポート月別利用者数





## 〔2〕 常設展示室無料開放

亙理の歴史や文化などについて広く普及を図るため、平成9年度からこどもの日(5月5日)と文化の日(11月3日)に展示室を終日無料開放しており、加えて平成24年度からは3月3日のひなまつり、平成26年度からは伊達成実霊屋御開帳日(8月16日、1月16日)にも展示室を終日無料開放している。

### 1. こどもの日(5月5日)

子どもの健やかな成長を願い、心のふれあいと元気なまちづくりをめざして開催した「Go・Go 悠里館まつり」事業の一環として、常設展示の観覧料を無料とした。

観覧者数：174人(一般122人、小中学生52人)

### 2. 文化の日(11月3日)

亙理の歴史や文化についての普及と、郷土資料館の利用促進を図り開催した「オープンミュージアム」事業の一環として、常設展示の観覧料を無料とした。また、小学生を対象に「真剣を持ってみよう」体験を実施した。

観覧者数：常設展示 278人(一般301人、小中学生36人)

### 3. ひなまつり(3月3日)

平成14年に伊達成実公入府400年を記念して亙理伊達、仙台石川両家から寄贈された亙理伊達家の雛人形を、より多くの方々に由来を知って観賞してもらうとともに、年中行事ひなまつりの意義の普及を図り常設展示の観覧を無料とした。

観覧者数：84人(一般9人、小中学生75人)

### 4. 伊達成実霊屋御開帳日(8月16日、1月16日)

年に2回行っている、県指定文化財「伊達成実霊屋」の御開帳にあわせて、参拝者が亙理伊達家や亙理の歴史について理解を深められるよう、常設展示の観覧料を無料とした。

観覧者数：8月16日 166人(一般123人、小中学生43人)

1月16日 65人(一般58人、小中学生7人)

## 5 教育・普及

### 〔1〕 講座等

#### 1. 夏休み子ども講座「勾玉を作ろう」

夏休みに、郷土資料などを活用して亙理の歴史・文化を理解するとともに、もの作りの体験をとおして先人の知恵に触れて考える機会を作り、他校児童との交流をとおして仲間作りを進めることを目的とした講座を、町内小学校児童を対象に行った。受講生の募集については、7月に小学校をとおして募集チラシを配付した。

日時 8月22日(土) 午前10時～12時

午後1時30分～3時30分



▲「真剣を持ってみよう」体験の様子



▲亙理伊達家雛人形見学の様子



▲勾玉を作る子どもたち

会 場 郷土資料館 学習室  
参加者 28人(午前22人、午後6人)  
材料費 100円  
内 容 亶理町に数多く存在する横穴墓や、そこから出土した刀や勾玉などの副葬品について学び、実物資料を観察しながら実際に勾玉を作った。

## 2. 年中行事講座「おひなさまを作ろう」

家庭で行われる年中行事にはそれぞれ意味があることをひなまつりを事例に伝え、年中行事に関わるもの作りをとおして、親子・家族のふれあいの機会を増やすとともに、年中行事および地域文化への関心を高める機会として行った。

日 時 平成28年2月20日(土)  
午前10時～11時50分  
場 所 郷土資料館 学習室、常設展示室  
材料費 500円  
参加者 一般28人(ほか見学幼児1人)  
内 容 ひなまつりについて学び、ちりめんでお手玉雛を製作した。製作後、常設展示室において亶理伊達家雛人形の解説を聞きながら見学した。



▲お手玉雛を作る参加者

## 3. 郷土資料館町民講座「ものしり大学院」

平成15年度に開始したこの事業は毎回100人前後の聴講者のある人気の講座になっている。これまで「郷土の歴史」に着目し、さまざまな分野の講師を招いてきた。

今年度は、三十三間堂官衙遺跡の発掘調査報告書の刊行にあわせ、「亶理の古代を考えるうえでの基礎知識」を学んだ。

講座回数は1回とし、形式は講師3名によるシンポジウム形式とし、1人ずつ研究発表を行い、最後に発表者全員でディスカッションと聴講者への質疑応答を行った。

### 「亶理の古代」

日 時 平成28年3月26日(土) 午後1時00分～4時00分  
会 場 図書館視聴覚ホール(悠里館3階)  
聴講者 110人  
内 容

#### ①「古代日理郡北部の状況～亶理町の発掘調査から～」

講師 亶理町教育委員会生涯学習課 学芸員 鈴木朋子

古代日理郡北部(亶理町域)の遺跡の現状や発掘調査についての報告。三十三間堂官衙遺跡を中心とした古代の日理の官衙について、これまで判明したこと、これからの課題、今後の保存・整備・活用にむけた事業の展開などを明確にした。また、延喜式内社との関わりや郷についても触れた。



▲研究発表①の様子

## ②「古代日理郡南部の状況～山元町の発掘調査成果から～」

講師 山元町教育委員会生涯学習課 学芸員 山田隆博 氏

古代日理郡南部(山元町域)の遺跡の現状や発掘調査についての報告。合戦原横穴墓群、熊の作遺跡での発掘調査の成果を中心に互理南部製鉄遺跡群や手工業生産を管理した有力者層集落跡などについて判明したことを解説した。



▲研究発表②の様子

## ③「陸奥国日理郡を考える～なりわい・みち・社・そして役所～」

講師 宮城県教育庁文化財保護課 技術補佐 村田晃一 氏

古代日理郡の郡衙であった三十三間堂官衙遺跡の立地やそれに伴う日理郡の交通についての報告。①、②の発表内容を踏まえ、郡の北端に置かれた郡衙、郡南部に多く存在する製鉄遺跡、式内社の分布などからわかる古代互理郡の交通網について解説した。



▲研究発表③の様子

## ④パネルディスカッション「互理の古代を考える」

パネラー 村田晃一氏、山田隆博氏、鈴木朋子

進行 互理町教育委員会生涯学習課 学芸員 菅野達雄

それぞれの発表内容を確認した上で、互理郡の古代についての現状の把握とこれからの調査の展望について意見を交わし、今後の課題について議論を深めた。質疑応答の時間には、聴講者の方々から質問が寄せられ、古代の互理への関心の高さが感じられた。

## 4. 夏休みどこでもパスポート利用促進事業「郷土資料館ちよこっと体験」

互理町の歴史に関連した体験や普段は見ただけの展示品に触れることで、子どもたちの昔の暮らしぶりや歴史に対する意欲・関心を向上させる。また、それによる「どこでもパスポート」の利用促進を目的として行った。

期間 平成27年7月21日(火)～8月25日(火)

会場 常設展示室

内容

### ◎展示室体験コーナー

- ①縄文をつけてみよう：粘土に縄文土器の模様をつけることができる。
- ②土器にさわってみよう：土器の破片にさわることができる。
- ③切り絵に挑戦してみよう：成実くんと互理伊達家家紋の切り絵に挑戦できる。
- ④色をぬってみよう：成実くんと互理伊達家家紋のぬり絵に挑戦できる。
- ⑤帳場に座ってみよう：展示品の帳場に座ることができる。
- ⑥ヒトリヌリに乗ってみよう：展示品のヒトリヌリに乗ることができる。
- ⑦回してみよう：展示品のジャバラ、麦つぶし機、糸より機を回すことができる。
- ⑧文化財パズルに挑戦しよう：文化財パズルに挑戦できる。



▲ぬり絵を楽しむ親子

## 〔2〕学社融合推進事業「移動しりょうかん」

この事業は平成12年度から行っている。おもに小学生を対象として、社会科や総合学習の中で資料館の収蔵資料をとおして身近な亘理町の歴史・文化・伝統を伝え、実物資料に触れ、使用する体験によって、より一層の学習効果をあげながら収蔵資料の有効活用を図っている。

「出前講座」「学芸員の派遣」「収蔵資料の貸出」の三つを柱とする移動しりょうかんに加え、学校の空き教室に各学校の地域性や学校の要望を取り入れた展示室を設置し、随時学習に合わせ、見て、触れられる「学校ミュージアム」を設置した。

### 1. 出前講座「しりょうかん出前学習」

#### 「昔のくらしと遊び」

実施校：4校（11クラス）

参加人数：269人



▲長瀬小学校での講座の様子

実施校	月日	時間	場所	参加人数	内 容
逢隈小学校 3年生 (3クラス)	1/21 (木)	9:30 ~12:15	家庭科室 廊下	89人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験する道具の説明。</li> <li>・「炭火アイロンがけ」「天秤棒を使った桶担ぎ」「洗濯板での洗濯・箱枕で寝てみる」をグループ毎に体験した。</li> <li>・蓄音器とランプの紹介。</li> </ul>
長瀬小学校 3年生 (3クラス)	2/3 (水)	9:30 ~11:25	青空ホール 図工室	24人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験する道具の説明</li> <li>・「炭火アイロンがけ」「天秤棒を使った桶担ぎ」「石臼をさわってみる・ろうそく火付け」をグループごとに体験した。</li> <li>・蓄音器とランプの紹介。</li> </ul>
亘理小学校 3年生 (4クラス)	3/3 (木)	9:30 ~11:30	常設展示室	148人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「常設展示見学」「各種資料(常設展に展示されている資料の中から選んで)説明」をグループ毎に体験した。</li> </ul>
高屋小学校 3年生 (1クラス)	3/4 (金)	10:35 ~11:20	3年生教室	8人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験する道具の説明</li> <li>・「石臼にさわってみる」「藁草履をはいてみる」を体験した。</li> <li>・蓄音器やランプ、羽釜などの昔のくらしの道具の紹介。</li> </ul>



## 2. 「学芸員の派遣」及び「収蔵資料の貸出」

実施校：3校（7クラス）

参加人数：228人

実施校	月日	時間	場所	参加人数	内 容
逢隈小学校 4年生 (3クラス)	9/1 (火)	13:45 ～15:30	逢隈小学校 体育館	90人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会科「亘理用水」に関する学習会の一環で「昔の農業用道具」コーナーを担当し、用水を作ったときの道具や農作業の道具などを展示した。</li> <li>・展示資料 … 土を掘る道具(スコップ3種)、土砂を運ぶ道具(もっこ、天秤棒、土しよい箱)、農作業の道具(犁、足踏み脱穀機)。</li> <li>・各コーナーを回って学習する児童に対して、写真パネルを用いながら昔の米づくりと展示資料の説明を行った後、自由に資料に触れさせ機械化以前の労苦を推察させた。</li> </ul>
吉田小学校 4年生 (1クラス)	10/20 (火)	9:30 ～11:30	学級教室 周辺の遺跡	23人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的な学習「地域の昔を調べよう」における地域にある遺跡などについての調べ学習に関して、吉田小学校周辺の遺跡についての講話と見学案内を行った。</li> </ul>
亘理小学校 4年生 (3クラス)	11/18 (水)	10:00 ～12:00	亘理小学校 体育館	115人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会科「亘理用水」に関する学習会の一環で「昔の農業用道具」コーナーを担当し、用水を作ったときの道具や農作業の道具などを展示した。</li> <li>・展示資料 … 土を掘る道具(スコップ3種)、土砂を運ぶ道具(もっこ、天秤棒、土しよい箱)、農作業の道具(犁、足踏み脱穀機)。</li> <li>・各コーナーを回って学習する児童に対して、写真パネルを用いながら昔の米づくりと展示資料の説明を行った後、自由に資料に触れさせ機械化以前の労苦を推察させた。</li> </ul>

## 3. 学校ミュージアム「しりょうかん移動展示」

◎逢隈小学校：民具室(平成15年8月リニューアル)の継続

◎荒浜小学校：民俗資料室平成26年9月1日再開



### 〔3〕 こども祭り「Go・Go 悠里館まつり」

5月5日・こどもの日に、郷土資料館・図書館の開館10周年を記念して平成15年度から開催してきた「ホップ・ステップ悠里館フェスタ」を、平成18年度からは名称や内容を変更し、“見て体験して、楽しむ参加型”のイベントとして、9回目を数えた。

日時 平成27年5月5日(月) 午前9時30分～午後0時40分

会場 悠里館（正面玄関前入口、1階エントランスホール・学習室、2階南側出入口・図書館会議室、3階視聴覚ホール）

主催 亶理町立郷土資料館・亶理町立図書館

来館者数 870人

内容

#### “開催セレモニー”

スタッフ、町の観光PR係長「わたりん」、ケヤッキーが来館者に案内チラシを配布した。

#### “楽のコーナー”

◎3階視聴覚ホールにおいて、てんたん人形劇による人形劇を行った。

◎1階エントランスホールにおいては、プロのマジシャン「SHINYA」による「おどろきマジックショー」を2回行った。

◎2階図書館の子ども読書コーナーでは、読み聞かせボランティア「ぽっぽ」によるおはなし会を行った。

#### “遊のコーナー”

◎1階学習室において、米山明則氏ほか3名とジュニアリーダーおよび職員の指導により「木のクラフト作り」として、竹とんぼを製作した。

◎2階図書館会議室においては、老人クラブ会員の指導により、「昔の遊び（お手玉、こま回しなど）」や「亶理のいろはかるた」を行った。

#### “昔なつかしコーナー”

◎2階南側出入口において、図書館ボランティア、ジュニアリーダー及び職員による駄菓子屋を開店した。



▲おどろきマジックショーの様子



▲駄菓子屋の様子



▲昔の遊びを楽しむ来館者の方々

ボランティア協力団体・協力者

亶理町老人クラブ連合会(10名)、ジュニアリーダー「たんぽぽ」(8名)、米山明則氏ほか3名、図書館ボランティア7名

#### 〔4〕 「オープンミュージアム」

亘理の歴史や文化についての普及と郷土資料館の利用促進を図るため、常設展示室と企画展示室を無料開放し、昔の道具を体験するコーナーを設けたほか企画展示に関連した催しを行っている。

日 時 平成27年11月3日(火) 午前9時～午後4時30分

場 所 郷土資料館(常設展示室、エントランスホール、学習室)

観覧者数 337人(一般301人、小中学生36人)

内 容

##### “郷土芸能演舞会”

1階エントランスホールにおいて、亘理町指定無形民俗文化財の「牛袋法印神楽」と「亘理枅取り舞」がそれぞれの保存会によって披露された。牛袋法印神楽は全12幕のうち「剣舞」・「種蒔舞」、亘理枅取り舞は全10番が演じられ、その後、町制施行60周年を記念した紅白餅まきを行った。また、同じく町の指定無形民俗文化財の「亘理獅子舞」の獅子装束を常設展示室に展示した。



▲郷土芸能演舞会の様子

##### “亘理いろはかるた会”

一般の方々から参加者を募り、小学生の部と中学生以上の一般の部に分かれて個人戦を行った。取り札の数を競い、参加賞のほかそれぞれの部の優勝・準優勝者には商品を授与した。



▲亘理いろはかるた大会の様子

##### “展示体験コーナー”

常設展示室内に各種体験コーナー(土器にさわろう、切り紙に挑戦しよう、ぬり絵に挑戦しよう、など)を設置した。また「真剣を持ってみよう」の体験を2回行った。

##### “記念品プレゼント”

観覧者先着100組に非売品の缶バッジをプレゼントした。

#### 〔5〕 学校教育関連

##### 1. 文化財めぐり

町教育委員会が文化財保護意識の高揚を図るために実施した。町内の文化財と郷土資料館を小学6年生(11クラス320人)と教職員19人が資料館職員の解説を聞きながら見学した。

学 校 名	学級数	見学人数	見 学 日
亘理小学校	4	145	5月13日・14日、6月10日・12日
荒浜小学校	1	28	5月8日
吉田小学校	1	20	6月18日
長瀬小学校	1	39	6月11日
逢隈小学校	3	96	5月28日、6月4日・5日
高屋小学校	1	11	5月27日

## 2. 社会見学等

遠足や教育課程に基づく学習活動の一環として、小学校児童が常設展や企画展などの見学や収蔵資料の使用体験、中学校生徒が調べもの学習のため来館した。また、姉妹都市交流の一環として、北海道伊達市と大分県日出町の学生が来館した。

来館日	来館者	来館者数	来館目的
7.21	亙理小学校	4	姉妹校交流事業に向けての取材
9.17	逢隈小学校3年生	90	校外学習
10.1	荒浜小学校	17	校外学習
10.2	亙理高校、北海道伊達高校	6	伊達市・亙理町姉妹校交流事業の一環
10.21	名取市立館腰小学校2年生	41	校外学習。生活科の授業の一環
11.11	吉田中学校	11	校外学習
3.26	大分県日出町小学生	20	日出町・亙理町姉妹校交流事業の一環

### 〔6〕 刊行物等

『郷土しりょうかん』第122号～第127号

広報紙としてA4判4ページ（A3判二つ折）を偶数月に発行。

### 〔7〕 博物館実習

学芸員資格取得希望者のため、博物館の実務実習生を受け入れた。

実習期間 8月18日(火)～25日(火)の6日間  
(23、24日を除く)

実習生 宮城学院女子大学文学部3年生1人

実習内容 第1日：ガイダンス、施設の概要説明、施設見学、庶務管理及び資料館の運営について、資料収集及び保管について(講話・作業)

第2日：資料の保管及び埋蔵文化財について(講話・作業)

第3日：企画展示について(講話・作業)

第4日：カウンター業務(作業)、資料の保管について(作業)、教育普及活動について(講話・作業)

第5日：教育普及活動の実際(夏休み子ども講座の運営)

第6日：資料の取扱いについて(講話・作業)、実習のまとめ



▲企画展示作業の様子

## 〔8〕 その他

### 1. 講師派遣

◆亶理郷土史研究会総会

4月27日(月) 亶理町中央公民館 視聴覚室

講師：副班長 鈴木朋子

「遺跡から見る亶理の歴史～発掘調査からわかったこと～」の講話

◆亶理郷土史研究会亶理・吉田地区懇談会

5月20日(水) 亶理町中央公民館 視聴覚室

講師：班長 菅野 達雄

「亶理の古代・中世」の講話

◆亶理郷土史研究会逢隈地区懇談会

5月22日(金) 働く婦人の家 2階会議室

講師：班長 菅野 達雄

「逢隈地区の歴史」の講話

◆平成27年度新規転入教職員の町内施設見学

8月21日(金) 大雄寺

見学案内：班長 菅野 達雄

◆おおくま歩け歩け大会

9月6日(日) 三十三間堂官衙遺跡、石間神社、阿武隈川河川敷花畑

講師：班長 菅野 達雄

遺跡・史跡の現地説明

◆宮城県退職公務員連盟 角田・伊具支部研修旅行

10月17日(土) 大雄寺、称名寺

講師：班長 菅野 達雄

現地説明

◆逢隈地区区長会町内施設見学研修会

10月28日(水) 大雄寺

講師：班長 菅野 達雄

現地説明

◆福島市信夫地区史跡保存会平成27年度「秋季史跡巡り」

10月29日(木) 郷土資料館、大雄寺、称名寺

講師：主事 佐藤 凱

現地説明

◆宮城県南浜街道モニターツアー

平成28年1月24日(日) 大雄寺

講師：班長 菅野達雄

現地説明

◆五丁目茶話会

平成28年3月1日(火) 港町集会所

講師：副班長 武田恵美

亙理伊達家の雛人形の解説とお手玉雛の製作指導

◆リビング仙台ツアー

平成28年3月29日(火) 大雄寺

講師：班長 菅野達雄

現地説明

## 2. 視察研修等の受入れ

◆大崎市岩出山公民館図書館ボランティア視察研修

5月19日(火) 16人

◆丸森町立金山図書館運営委員視察研修

7月15日(水) 8人

◆亙理地区区長会町内施設研修

7月16日(木) 27人

◆平成27年度新規転入教職員研修 町内施設見学

8月21日(金) 46人

◆亙理郷土史研究会視察

9月10日(木) 10人

◆国立文化財機構アソシエイトフェロー視察

9月30日(水) 20人

◆「海外自治体幹部交流協力セミナー2015」地方区交流事業に係る訪問

10月22日(木) 18人

◆宮城大学復興視察

10月31日(土) 25人

◆兵庫県立大学・宮城大学復興視察

11月8日(日) 30人

## 6 資料の収集・保管

### 〔1〕 収蔵資料

#### 1. 資料内訳

資料点数の( )内の数字は平成27年度新規収蔵資料

##### (1) 考古資料 115点

常設展示展示資料：114点

※ このほか、町内各遺跡からの出土資料を保管しているが整理中であり、教育委員会所蔵であることから、上記点数のみ記載した。



(2) 歴史民俗資料 4,558(442)品目 12,641(1,915)点

開館以前(平成5年度まで)の収集資料:1,030品目 1,782点

開館以後(平成6～27年度)の収集資料:3,528品目 10,859点

《平成6～27年度収集資料分類内訳》

分類項目	点数	分類項目	点数	分類項目	点数
1 衣・食・住	1,522	7 民俗知識	1,649	12 亙理伊達家・家中	136
2 生産・生業	821	8-1 民俗芸能	9	13 軍事・戦争	331
3 交通・運輸・通信	339	8-2 競技・娯楽・遊戯	1,357	14 文書・書籍・地図	956
4 交易	1,941	9 人の一生	110	15 美術	700
5 社会生活	698	10 年中行事	130	16 その他	59
6 信仰	99	11 口承伝承	2		

(3) 写真・映像等資料 541(7)品目 1,132(9)点

写真:481(1)品目813(1)点 映像・音声:14品目268点 絵・図:39品目42点

(4) その他(化石など) 9品目83点

## 2. 寄贈資料

20人(団体) 138品目 225点

No.	寄贈者名	地区	主な資料名	品目	点数
1	大槻かづ子	亙理町(下大畑)	山神御詠歌御神像掛図 ほか	8	8
2	大沼千束	川崎町	市松人形	1	1
3	荻田耕造	岩手県奥州市	伊達宗賀和歌懐紙 ほか	5	5
4	長田ウメ子	亙理町(今泉)	乳児用裕・綿入 ほか	2	2
5	管野三郎	亙理町(北城東)	宮城蚕種会社焼印	1	1
6	小松 明	亙理町(駅前西)	勲章授与証書 ほか	45	73
7	齋 清文	亙理町(早川)	逢隈消防史	1	1
8	鈴木光範	亙理町(柴町)	手拭	14	21
9	永谷光夫	亙理町(五日町)	戦時国債 ほか	6	22
10	山形正志	亙理町(五日町)	写真台紙綴り ほか	11	35
11	渡邊 茂	富谷町	写真	1	1
12	個人		棹秤 ほか	2	2
13	個人		普通入場券 ほか	11	18
14	個人		吉田村全図 ほか	4	4
15	個人		リンゴ箱	1	1
16	個人		教科書	2	2
17	個人		搔巻 ほか	16	20
18	個人		選挙ポスター	1	1
19	個人		カーボン紙	1	1
20	(有)宝古堂	仙台市	伊達邦成和歌短冊 ほか	5	6

## 〔2〕 寄託資料

「亙理忠儀記」(亙理町指定文化財)	上町 菊地家 所蔵
伊達政宗書状(伊達宗実あて)ほか 2点	武田斐子 氏 所蔵
額入資料3点・木箱資料32点・袋入資料78点	岡元継男 氏 所蔵
脇差1点・刀1点	東條勝雄 氏 所蔵

## 〔3〕 常設展示借用資料

No.	資料名	所有者名	数量	借用期間	借用理由
1	志賀家文書	志賀道義	378	H5. 7.18～	亙理伊達家コーナー展示、調査研究
2	武者家勤功書上 ほか	荒浜 武者家	9	H6.10. 5～	歴史：近世コーナー展示
3	船鑑札、漁業鑑札	荒浜 島田家	2	H6.10. 8～	民俗：水辺のくらしコーナー展示

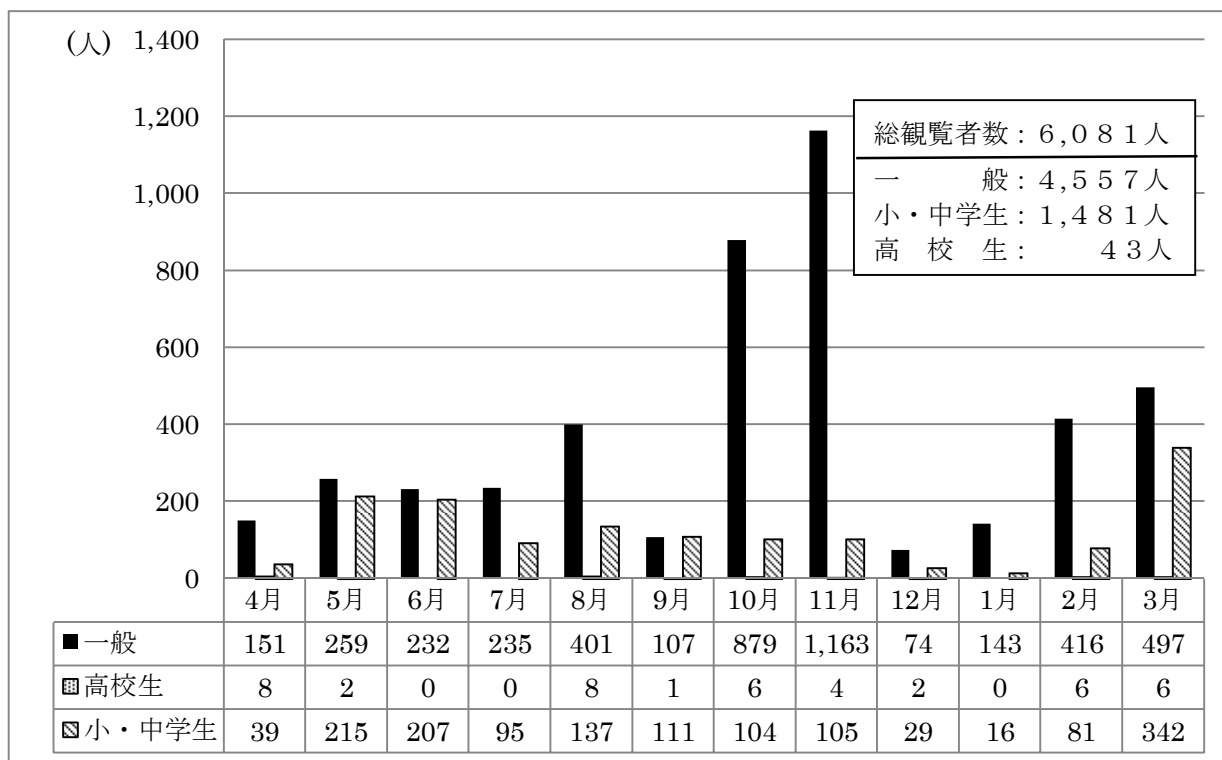
## 〔4〕 資料貸出

3件39点

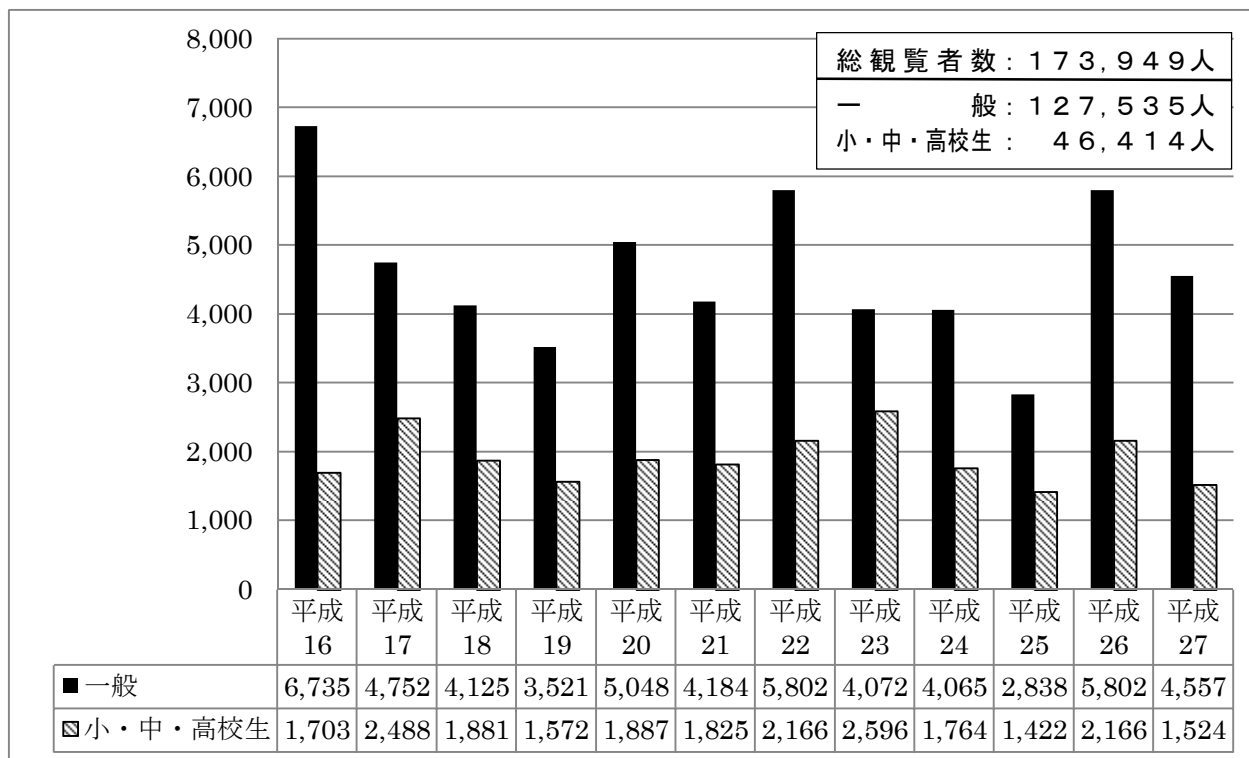
No.	貸出先	目的	資料名	貸出日・期間
1	高屋小学校	展示のため	椿貝塚出土縄文土器片 ほか22点	4.24～4.26
2	亙理保育所	稲の脱穀のため	脱穀機 1点	9.29～9.30
3	株式会社 ベストセラーズ	「歴史人」2016年1月号掲載のため	伊達成実霊屋写真 1点	11.25
4	大雄寺	大雄寺解説パンフレット作成のため	伊達成実木像写真 ほか3点	1.12
5	高屋児童クラブ	児童クラブ事業のため	卓上手織機 16点	1.24～2.12
6	一般社団法人 共同通信社文化部	連載記事「漱石を読む、 漱石を歩く」への掲載のため	夏目漱石原稿「文鳥」写真 1点	2.9
7	宮城県考古学会	刊行物「大地からの伝言 —宮城の災害考古学—」への掲載のため	文化財レスキュー写真 1点	2.27
8	株式会社ジンネット	報道番組「NNNドキュメント’16」で使用するため	亙理町荒浜地区写真 2点	3.17

## 7 観覧者数の推移

### 〔1〕 平成27年度月別観覧者数



### 〔2〕 年度別観覧者数(平成16年度～平成27年度)



## 8 予算

### 郷土資料館費

予算額 7,638,000 円

※ 複合施設のため人件費、管理費等は含まれていません。

## 9 職員名簿

【平成27年4月1日～平成28年3月31日】

職名	氏名	就任期間	備考
館長	穴戸由美	H27. 4.1 ~ H28. 3.31	町立図書館長兼務
文化財班長	菅野達雄	H 6. 4.1 ~ H28. 3.31	学芸員
副班長	鈴木朋子	H18. 4.1 ~ H28. 3.31	学芸員
副班長	武田恵美	H24. 4.1 ~ H28. 3.31	学芸員
主事	佐藤凱	H27. 4.1 ~ H28. 3.31	

## 10 利用案内

### 〔1〕 開館時間

午前9時から午後4時30分まで（入館は午後4時まで）

### 〔2〕 休館日

- ・毎週月曜日
- ・国民の祝日（5月5日、11月3日を除く）
- ・館内整理日（毎月最終金曜日）
- ・年末年始（12月28日～1月4日）

### 〔3〕 観覧料

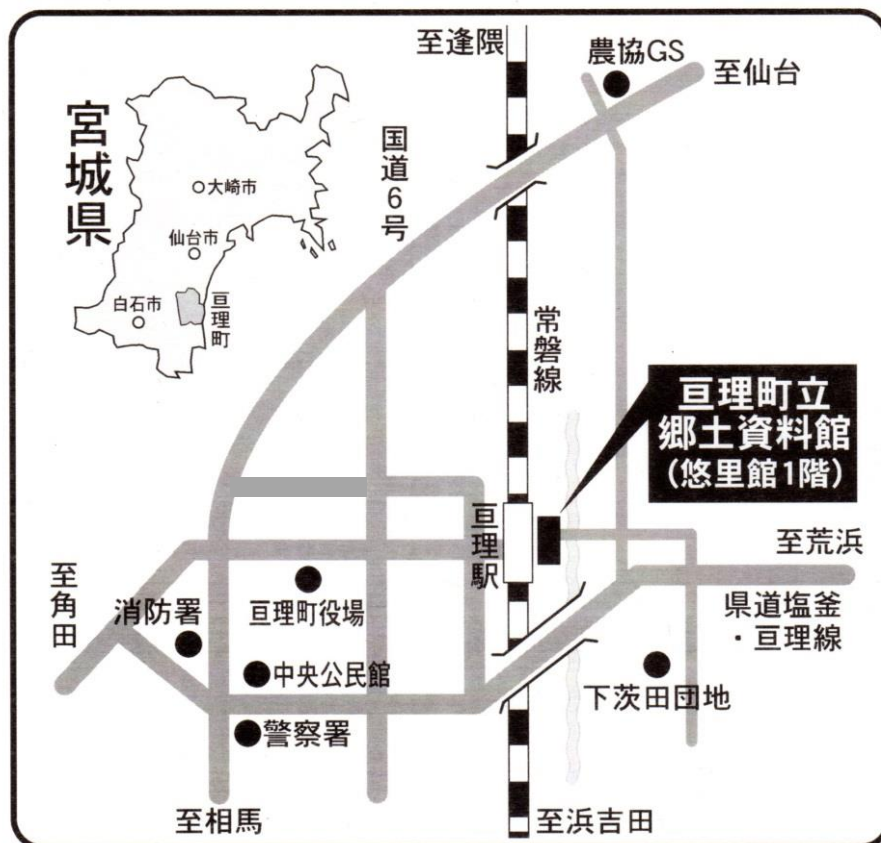
- ・常設展示 一般200円(150円)／高校生100円(70円)／小中学生50円(30円)  
※( )内は団体20人以上の場合
- ・特別展示等 1,000円以内でそのつど定めた額

### 〔4〕 無料開放日

- ・5月5日(こどもの日)
- ・8月16日(伊達成実霊屋御開帳記念)

- ・ 11月3日(文化の日)
- ・ 1月16日(伊達成実霊屋御開帳記念)
- ・ 3月3日(ひなまつり・休館日の場合は前日)
- ・ 仙台都市圏内の小中学生は通年無料
- ・ 仙南地域・石巻・大崎・気仙沼本吉地域広域圏内の小中学生は、毎週土曜日・日曜日・春休み・夏休み・冬休みの期間中無料

〔5〕 位置図





---

亶理町立郷土資料館年報 第18号  
平成27年度

---

平成28年8月発行

編集・発行 亶理町立郷土資料館  
〒989-2351 宮城県亶理郡亶理町字西郷140番地  
TEL (0223) 34-8701  
FAX (0223) 34-8709  
E-mail [kyoudo@town.watari.miyagi.jp](mailto:kyoudo@town.watari.miyagi.jp)

---